

3歳児

3歳児の発達

このころは・・・

「自分でできることは**自分でやってみたい**。そんな気持ちが増えてくるのが3歳児です。自分と同じようなことをする同年齢の友達のことが気になり、一緒のことがしたくなる。でも、自分のしたいことを遮られると、腹が立ったり、悲しくなったりし、複雑な思いを体験します。こんな気持ちの揺れをひとつずつ大好きな大人に受け止めてもらって、**自分と異なる友達の存在に思いを寄せて**いきます。友達の存在が、心を育てる第一歩の始まりです。

運動面でも何か目標に向かって、手足や全身をうまく使って、**ダイナミックに動く**ことが楽しくなります。はさみや折紙など、「見ながら～をする」ことができるようになり始めます。

「昨日の続きをしようか。前にこんなことをしたっけ・・・」など、過去の楽しい記憶を振り返ることも増えるでしょう。

こんな遊びをいっぱいしよう

- 好きな遊びを見つけて、繰り返し一緒にたっぷり楽しみましょう。
- 水、砂、泥、粘土など変化が楽しめる遊びを、体を使って楽しみましょう。
- 身近な生活経験をごっこ遊びにして楽しんで、言葉でのやりとりやイメージを広げましょう。

この頃の子どもの様子

見ながら折り紙を折る



野菜を育て収穫する



ゆっくり、じっくり…



時間はかかるけど

うんとこしょ!



同じことがしたくなる

ちょっと、休憩…

自分で…



危ないことも



何でもできそう…

自らやろうとする時は、自分作りのチャンス！



みんなで食べるとおいしいね。

生活面では着替えや排泄、手洗い、うがい、箸を使うなどが少しずつ自分からできるようになってきます。できたらほめてほしくなり、認めてもらうとまた次もやってみようとチャレンジするようになります。

砂・水・泥など何度も変化が楽しめる遊びは、思い切り体を使うので、心がのびのび開放されます。感触を味わいながら、見立てあそびも膨らみます。身近な生活経験を再現してごっこあそびを楽しめる時期でもあります。

こんなことあるある！



無理なことでも自分一人でやり通そうとします。



ブツブツと独り言を言いながら、遊んでいます。



できることは自分でしたい！という意欲が育っているよ。



自分の世界で、いっぱい話をしながら遊んでいるの。

「自分でできた！」の気持ちを育てよう

身のまわりのことを自分でしようとする意欲を育む時期です。「自分で（したい）」と思ったことはやってみる姿を見守りましょう。できたときは丁寧に褒め、できなくても少し手伝って自分でできたと思えるところを残すと、自信が育まれます。

自分のペースで好きな遊びを繰り返し楽しむことで、少しずつそばにいる友達と遊びを共有するようになります。



保育者より

子どもの行動、大人が示そう 動作と言葉で！

3歳児



走り回るの大好き！！

3歳児

ケンケンやよじ登りなど、目の前の目標に向かって全身を操作して、ダイナミックに動くことが楽しくなります。生き活きと走り回ったり、自分なりに「〇〇のつもり」になって体を動かしたりする姿が見られます。

また、手指の動きも分化し、はさみや折り紙など、「見ながら～する」ことや両手の協調ができるようになり始めます。自分なりの思いを持って、「これは、〇〇」と意味づけたり話しながら絵を描いたりするようになります。

こんなことあるある！



はさみを使ったがるのですが、なぜ？大丈夫？



いつでもどこでも走り回っています。



手指が上手く動かせるようになって、何でも出来そうなの！



走る楽しさを全身で感じているんだ。

「自分でできた！」の気持ちを育てよう

思い切り走る楽しさを感じることは、この時期とても大切です。「〇〇まで走ろう」「ここはゆっくり歩くよ」など大人が言葉と合わせて一緒に動くことで、体をコントロールする力がついてきます。はさみは、大人の見守りの中で使えるようになります。はさみの使い方を知らせたり、使っている姿を見守りながら、子どもと一緒に作ったり描いたりを楽しんでみてはいかがでしょうか。



保育者より

お話の中に入り込む



「ママのママはおばあちゃん?」「羽があるから飛ぶの?」「明日っていつ?」など大人に聞いて確認し「なんで?」「だから」という言葉を自分で使いながら、周りの世界を関係づける力が大きく育ってきます。また、したいことや経験したこと思ったことを相手に言葉や動作で伝えようとし、受け止めてもらえる喜びを感じます。

絵本やお話などに親しみ空想しながら聞いたり、言葉のやりとりを楽しんだりしてお話の中にどっぷりと入り込むことのできる時期です。

こんなことあるある!



乱暴な言葉を真似ているのです。



「あのね」からはじまり
なかなか話がすすみません。



周りの人と同じ言葉を
使いたくなるんだ。



聞いて欲しいことがあるん
だけど、言葉で上手く言え
ないんだ。

いろんな言葉を身につけていく時期です

新しく習得した言葉はとにかく使ってみたいものです。「その言い方はちょっと乱暴かな?」と分かりやすく相手の気持ちを知らせると考えるきっかけになります。また言葉にならない気持ちを受け止め、「〇〇だったのね」など言葉に置き換えてあげることも大切です。五感〈見る・聞く・かぐ・味わう・触れる〉を通して、豊かな言葉と思考が育ちます。



保育者より

友達の存在が、心を育てる第一歩！！

3歳児



同じことがしたくなる

自分のペースで好きなあそびを楽しみながら、自分と同じようなことをする同年齢の友達のことが気になり、一緒にすることがたくなります。その中で、自分の思いと違うことに会い、いざこざやすれ違いが多くなります。友達と一緒に過ごす中で少しずつ友達の持つイメージを受け入れて、同じ「つもり」をもってあそぶことが楽しくなります。

こんなことあるある！



「順番」って分かるのでしょうか？



誰の後ろ、誰の前を具体的に教えてくれるとわかるよ。



泣いたり、叫んだりして自分の思いを通そうとします。



自分で思い抱いたとおりにやってみたいんだ。

実際に友達と触れ合いながら、かかわり方を知っていく

友達とのかかわりが多くなるといざこざも増えますが、人とかかわりを学ぶ大切な経験です。「何が嫌だったの？」など丁寧に聞き受け止めながら、相手の思いを知らせつつ気持ちを落ち着かせましょう。「仲直りしたいな」という気持ちが育つといいですね。



保育者より